

進捗状況には温度差がある。どうしても体制が整わず課題もあるという地区については経過措置の中で対応してもらおうように考えている。

中学校統合について

Q. 中学校が統合になれば、当然、生徒数が増える。部活動をするにはグラウンドが狭いのでなんとかしてほしい。

A. 中学校で利用する武道館の整備を計画している。テニスコートは現在の2面から4面に増やす予定。グラウンドについては周囲が住宅地のため拡大するのは難しいので、部活動などにおいては東陽の里や町民野球場・ソフトボール場を活用していくように検討する。

学校跡地の利用について

Q. 西中学校の跡地を、ヘリポートとして、また、スポーツセンター的な利用、災害に備えての備品倉庫、一部には耐震性があるので避難所として

利用する等、すべて取り壊すのではなく一部を残して利用できないか。

A. 跡地利用については、現時点では具体的な考えはないが、校舎を利用するには相当な手直しが必要である。一部を残すとしても誰が管理するのかも含め、皆さんにとって一番良い方法を今後のまちづくりの方向性を踏まえた中で検討していきたい。

Q. 鷹山小学校の跡地利用について、決まっていることがあるのなら教えてほしい。

A. 鷹山地区で同じく統合された中山小学校については福祉施設に用途を変更して活用している。鷹山小学校については、町としては、村山地域も含めた中で教育施設に活用できないかと働きかけているが、西置賜地域においては位置的に外れのほうにあるため難しい。現時点で具体的なことは決まっていないが、施設はバリアフリーとなっておりハンディキャップを持った方にも利用していただける校舎なので、教育的施設として

その他

の利用について検討している。

Q. 後継者が不足している中で、町の基幹産業として、若者が農業をやりたくなくなるような施策を打ち出してもらいたい。国の施策を示すだけでなく、町としての施策をしっかりと提示していくべき。どのような考えがあるか。

A. 国の施策が大きく変わり、稲作農家には厳しい状況になる。町としては、JAや生産団体と相談しながら「戦略作物」として15品目を定め、支援できるように進めている。新規就農者も少しずつ増えているが、農地の提供や初期の設備投資をどれだけ支援できるか、事業費の大きなものについては国や県と連携をして事業費へのかさ上げ等を検討している。町単独の支援としては、町外からの新規就農者に対して3年間家賃を助成している。また、新規就農者が独立できるまで指導してくれる方を募りながら関係者と話を進めている。今年度中にその道筋を

つけて来年度あたりに予算化できればと考えているのでアドバイス等をいただきたい。

Q. 国道287号の通行止めにより現在迂回路となっている坂下平田中山線は、冬も迂回路となる予定なのか。中山三郷寒河江線を冬でも通れるように改良するほうがいいように思うがそのような考えはないか。

A. 県道中山三郷寒河江線を迂回路とすることについては県でも検討はしたが、朝日町水本内が非常に狭いということと坂下平田中山線を迂回路としたので、ご理解いただきたい。国道287号大瀬内は、遅くとも降雪期前に片側交互通行ができるように、対策工事が進められている。

Q. 中学生までの医療費を無料にする等、子育てを町で支援している部分はあるが、今後、例えば、義務教育が終わるまでの学費・経費を町で全額負担する等の大胆な考えはないものか。

A. 医療費については高校生

まで無料にしているところもあるが、町で負担するということは税金を使わせていただくことになる。白鷹町では医療費の無料化は中学生までと判断している。アイデアをいただければ、その都度検討させていただき、できることに実現に向けて努力していく等、今後の最重要プロジェクトとして取り組んでいく。

開催月日	地区	参加者数
6月30日	蚕桑地区	53人
7月1日	鮎貝地区	61人
7月2日	荒砥地区	59人
7月8日	十王地区	57人
7月10日	東根地区	61人
7月11日	鷹山地区	36人
合計		327人

この他にいただいたご意見をまとめたものを総務課企画室情報係と各地区公民館に配置してありますので、ご覧ください。また、町のホームページでもご覧いただけます。

■問い合わせ

総務課企画室情報係
☎ 85-6121